

# 会 議 録

( 10 - 1 )

会議の名称		令和 7 年度 第 3 回 春日部市立医療センター運営委員会	
開催日時		開 会	午後 1 時 30 分
		閉 会	午後 2 時 30 分
開催場所		春日部市立医療センター 3 階 多目的ホール	
議長(会長等)氏名		鬼丸 裕史 (委員長)	
出席者	委員氏名	(出席人数 : 13 人)	
		木下 三枝子、永田 飛鳳、阿部 雅一、中村 貴彰、水沼 日出夫	
		鬼丸 裕史、吉田 稔、荒木 洋美、竹田 広樹、遠藤 賢	
		今井 良仁、村田 睦剛、高橋 靖	
	説明者 その他	(出席人数 : 6 人)	
		病院事業管理者 三宅 洋、病院長 有馬 健、	
		副院長 中村 靖史、看護部長 笠原 洋子、 事務部長 神谷 司、健康保険部長 松本 英彦	
	事務局	(出席人数 : 7 人)	
		事務部次長兼総務課長 大橋 等、経営財務課長 渡邊 正樹、	
		管理課長 藤井 裕之、医事課長 桑原 隆、	
		看護専門学校副学長 高橋 和恵、総務担当課長 小林 和彦 経営財務課経営財務担当主幹 古宮 敦己、木本 淳次	
	次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1 開会
2 委嘱状交付			
3 病院事業管理者挨拶			
4 委員長、副委員長の選出について			
5 議事 (全て公開)			
(1) 報告事項			
① 令和 7 年度春日部市病院事業会計補正予算 (案) について			
② 令和 8 年度春日部市病院事業会計予算 (案) について			
③ 令和 7 年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算 (案) について			
④ 令和 8 年度春日部市立看護専門学校特別会計予算 (案) について			
⑤ 令和 7 年度春日部市立医療センター運営状況について			
(2) その他			
6 閉会			

一部公開・非公開 の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：
配 布 資 料	① 令和7年度第3回春日部市立医療センター運営委員会次第 ② 令和7年度第3回春日部市立医療センター運営委員会資料 ③ 運営委員会に係る質問及びご意見について
会議録の作製方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>【 1 開会】 ただいまから令和7年度第3回春日部市立医療センター運営委員会を開会いたします。</p>
病院事業管理者	<p>【 2 委嘱状交付】</p> <p>【 3 病院事業管理者あいさつ】</p>
事務局	<p>ここで会議についてご報告いたします。 運営委員会条例第6条第2項の規定に基づく定足数に達しておりますので会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>【 4 委員長、副委員長の選出について】</p>
仮議長	<p>運営委員会条例第5条第1項の規定により委員長及び副委員長は委員の互選により定めることとされております。 先例ですと、委員長につきましては市議会選出委員の中から、副委員長につきましては、その他の委員の中から推薦をお願いしているところでございます。 皆様それでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、委員長、副委員長の選出をお願いします。どなたか、ご推薦ございますか。</p> <p>委員長には鬼丸委員、副委員長には竹田委員というご推薦がありました。いかがでしょうか。</p> <p>それでは、委員長には鬼丸委員、副委員長には竹田委員を選出いたします。</p> <p>以上をもちまして委員長・副委員長が選出されましたので、進行を事務局にお返しいたします。 委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>それでは、条例第5条第2項の規定に基づき、議事の進行を鬼丸委員長をお願いいたします。</p>
議 長	<p>議事に入る前に、春日部市附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条の規定に基づき、本日の議事は、すべて公開することとしましたのでご報告いたします。</p> <p>また、本日の会議には傍聴の申し込みはございませんでした。</p> <p><b>【5 議事】</b></p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議事の(1)は「報告事項」でございます。</p> <p>はじめに、病院事業会計予算に関する事項を一括議題といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p> <p>①令和7年度春日部市病院事業会計補正予算(案)について</p> <p>(事前質問)</p>
事務局	<p>1 収益的収入および支出の補正ですが、この予算案の補正後の病院事業収益と病院事業費用の補正後額をお願いします。</p> <p>2 支出の給与改定分について該当する職員数の総数を伺いたい。</p> <p>(回答)</p> <p>1 補正後の予算額につきましては、病院事業収益は、132億9,809万4千円、病院事業費用は、145億5,478万3千円となります。</p> <p>2 該当する職員数の総数につきましては、644名となっております。</p> <p>②令和8年度春日部市病院事業会計予算(案)について</p> <p>(事前質問)</p> <p>1 収益的収入および支出3条予算の【入院収益】について7年度比で患者数約2%増と見込む理由を伺いたい。同様に診療単価増の根拠を伺いたい。病床利用率について伺いたい。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>2 同じく【外来収益】増加見込みの理由について伺いたいのと、患者内訳として新規・再診、新患・継続というのかもしれませんがその内訳としてはどう見ているのか伺いたい。また、単価を1000円増と見込んでいますが、業務内容などをお聞きする中でも高額の治療が増えている印象ですが、そういったことも含めて単価増について伺いたい。</p> <p>3 病院事業費用について【給与費】のなかの職員数15名増の内訳を伺いたい。また、医師、看護師、その他技師の充足について伺いたいと同時に医師の不足している科と充足の見通しについて伺いたい。</p> <p>4 【材料費】について、この間材料費については年々上昇傾向がみられるが、令和8年度増額の理由と見通しを伺いたい。</p> <p>5 【資本的収入および支出】について【企業債の設備整備事業債】の概要を伺いたい。</p> <p>6 【資本的支出】【病院整備費、工事請負費】について概要を伺いたい。</p> <p>7 【キャッシュベース収支】について病院事業債、経営改善推進事業の借入れについて概要（借入先、利率、返済計画）についてと、同時に市からの繰り入れについては検討したのかについて、どのような判断なのか伺いたい。</p> <p>(回答)</p> <p>1 入院患者数及び診療単価につきましては、コロナ禍以降における実績の伸び率や令和8年度診療報酬改定による上昇分のほか、各種加算の実績などを踏まえ、積算しております。なお、病床利用率は82.6%を見込んでいます。</p> <p>2 外来患者数及び診療単価につきましても、コロナ禍以降における実績の伸び率から、1日あたりの初診73人、再診657人と見込み、診療報酬改定に加え、特に血液内科や呼吸器内科において高額な薬を必要とする患者が増加傾向にあることから、これらの動向なども踏まえて積算しております。</p> <p>3 職員数15名増の内訳につきましては、医師3名、医療技術員2名、事務員1名、フルタイム会計年度任用職員9名となっております。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>また、医師、看護師、その他技師につきましては、必要な職員数は充足されており、医師においても、令和5年度から7年度にかけて13名の医師を必要な診療科に配置していることから、現時点で、必要な診療体制を確保しております。</p> <p>4 材料費の主な増額理由につきましては、薬品費は主に抗がん剤治療件数の増加によるものです。</p> <p>抗がん剤治療件数は、それまで月平均500件前後の横ばいであったものが、令和5年度は513件、令和6年度は547件、令和7年度上半期は623件と大幅に増加しており、令和7年12月末現在においても613件と高止まり傾向で推移していることから、薬品費の増額を見込んだものです。</p> <p>診療材料費につきましては、手術件数の増加によるものです。令和7年度上半期の手術件数は、令和6年度上半期と比較し158件の増となっており、主に1症例あたりの診療材料単価が比較的高い整形外科で35件、呼吸器外科で34件の増加となっております。</p> <p>令和7年12月末現在においても、手術件数は前年度と比較し167件の増で推移しており、令和8年度においても手術件数は引き続き同程度で推移することが見込まれるため、予算額を増額したものです。</p> <p>また、材料費の今後の見通しにつきましては、原材料価格や物流費用の上昇を背景に高止まり傾向が続くものと見込んでおり、手術件数も伸びている状況にあることから、今後も材料費の増加傾向は続くものと考えております。</p> <p>5 企業債の設備整備事業債につきましては、資本的支出の病院整備費、工事請負費に計上している電話交換設備の更新工事にかかる事業債となります。</p> <p>6 病院整備費、工事請負費につきましては、当医療センターの建設当時から設置している電話交換設備の部品供給停止などにより維持管理が難しくなることから、設備の更新を行うものです。</p> <p>7 病院事業債につきましては、公立病院の経営環境が厳しい中、経営改善の取組の効果により収支改善が見込まれる額に対して発行が可能となる事業債となります。15年以内の償還、借入先は地方公共団体金融機構または銀行等で、その利率は実際の借入時</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>に決定するものとなります。</p> <p>また、市からの繰り入れの検討状況につきましては、市の担当部局も含め協議を図り、全国的に厳しい病院経営が続く中で、将来にわたり持続可能な経営基盤の確立を図るため、資金収支の状況や今後の見通し等を総合的に検討したうえで判断したものです。</p>
議 長	<p>(委員質問)</p> <p>ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。</p> <p>《特になし》</p> <p>ご質問等が無いようでしたら、病院事業会計予算につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、看護専門学校特別会計予算に関する事項を一括議題といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p>
事務局	<p>③ 令和7年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算（案）について</p> <p>④ 令和8年度春日部市立看護専門学校特別会計予算（案）について</p> <p>(事前質問)</p> <p>【歳入】使用料及び手数料について、減額理由の高等教育の修学支援制度による授業料減免見込みの増について【歳出】の【償還金利子割引料】にも関連して概要を伺いたい。</p> <p>(回答)</p> <p>歳入予算につきましては、1款使用料及び手数料において、前年度と比較して83万4千円の減額を見込んでいます。一方、歳出予算の22節償還金、利子及び割引料では、前年度と比較して7万円の増額を予定しています。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>これらの予算は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、高等教育修学支援新制度の対象となる学生に関連して計上しています。</p> <p>この制度は、経済的な理由から進学や修学を断念せざるを得ない意欲ある学生を支援することを目的としており、授業料などの減免を行うものです。</p> <p>授業料減免を受ける学生は、文部科学省所管の独立行政法人日本学生支援機構に対して給付型奨学金を申し込み、日本学生支援機構から給付奨学生として認定された者が減免対象者となります。具体的には、この場合、授業料（月額 13,900 円）と入学金（70,000 円）が減免されます。</p> <p>歳入予算における 1 款使用料及び手数料 83 万 4 千円の減額理由につきましては、令和 7 年度当初予算で授業料の減免対象者を 10 名と見込んだものの、令和 7 年 12 月時点で 13 名が授業料の減免を受けています。</p> <p>この状況を踏まえ、令和 8 年度当初予算では 15 名を見込み、その結果として減額が生じています。</p> <p>また、歳出予算における 22 節償還金、利子及び割引料 7 万円の増額理由につきましては、給付奨学生（減免対象者）に認定された学生への入学金の還付に伴うものであり、対象見込者を令和 7 年度当初予算より 1 名増やし、6 名を見込んだ結果として増額となっています。</p> <p>なお、入学金は前年度中（令和 7 年度中）に納入する必要があるため、その後の令和 8 年度に減免対象として確認された学生へ還付を行うため、このような予算計上となっています。</p> <p>(委員質問)</p> <p>ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。</p> <p>《特になし》</p> <p>ご質問等が無いようでしたら、看護専門学校特別会計予算につきましては、以上とさせていただきます。</p>
議 長	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	<p>続きまして、令和7年度春日部市立医療センター運営状況に関する事項を議題といたします。</p> <p>事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。</p> <p>⑤ 令和7年度春日部市立医療センター運営状況について</p> <p>(事前質問)</p> <p>1 5. 分娩の状況について、地域周産期母子医療センターに認定され、運営内容や予算においても影響や現状を伺いたい。市内外からの利用状況などの変化など。</p> <p>2 3. 救急の状況について、受け入れ状況の現状について伺いたい。</p> <p>3 市立医療センターの患者や職員の自転車置き場について拡充の方向性について伺いたい。</p> <p>(回答)</p> <p>1 地域周産期母子センターにつきましては、NICU6床、GCU6床などを設置し、専門医を中心に24時間体制で母子の安全を見守り、常時迅速な対応ができる環境を整備しています。</p> <p>また、受入地域の範囲の利根医療圏（幸手市、杉戸町、宮代町）を中心に、母体搬送及び児搬送の受入件数を増加するための体制整備を行っており、分娩件数は、令和7年4月から12月までの合計152件（春日部市122件、幸手市12件、杉戸町13件、宮代町5件）で前年比4件の減となっております。</p> <p>2 救急の受入状況につきましては、受入患者数が令和7年12月末現在で前年度の同期間を161人上回る3,117人となっており、このペースで年度末まで推移した場合、今年度の目標かつ、経営強化プランの最終目標値である年間4,000件を上回る見込みです。引き続き受入要請に応じた人員配置の見直しなど、多くの救急患者の受け入れが可能な体制を整備してまいります。</p> <p>3 駐輪場につきましては、現在290台分の駐輪スペースを確保しておりますが、利用状況を確認したところ、満車となる状態は恒常的に発生していないことから、現時点では拡充の予定はございません。</p>
事務局	

